



優秀賞

玉名市役所の橋梁メンテナンス(玉名市モデル)物語



1巡目点検時の判定区分Ⅲ・Ⅳの修繕完了率 100%
2巡目の定期点検の結果、判定区分Ⅲ・Ⅳは 0橋

予防保全型に完全移行

市道橋835橋の本市は2巡目の定期点検の結果
判定区分Ⅲ・Ⅳは 0橋

STEP 3 質

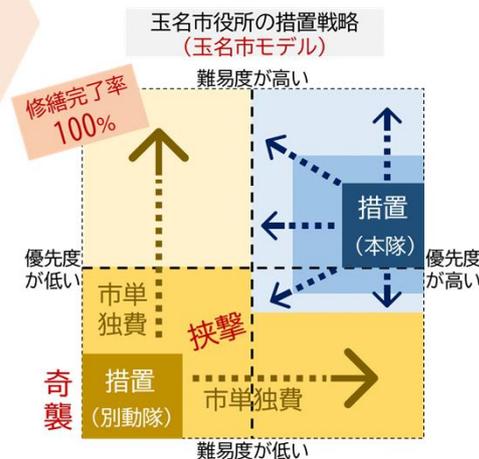
大学との積極的な共同研究の推進による橋梁メンテナンスの高度化

STEP 2 量

地域建設業の既存施工能力を活用した『分離発注』による措置進捗

STEP 1 能力

『橋梁補修DIY』の実践によるOJTを通じた市職員の現場力の向上
※第3回インフラメンテナンス大賞優秀賞



道路分野

予防保全型の橋梁メンテナンスへの早期移行を実現した現場主体の構築モデル(玉名市モデル)

取組概要

「玉名市モデル」は、市職員が成長し実務能力を向上させることで、迅速に予防保全型の橋梁メンテナンスへ移行する独自の実務モデルである。①市職員の能力向上、②地域建設業との協働による措置数の拡大、③学官の協働による市職員の高度技術の補完の3ステップを通じて、市道橋のメンテナンス方法を革新した結果、市職員の技術力向上はもとより、1巡目点検の判定区分Ⅲ・Ⅳの修繕完了率100%を達成するだけでなく、2巡目点検では判定区分Ⅲ・Ⅳが0橋となり、完全な予防保全型橋梁メンテナンスへの移行を実現している。

受賞理由

地域の新たなモデル(玉名市モデル)を構築しており、コスト削減効果が大きく、効率性への貢献度も大きい。地方公共団体の技術力向上や地元建設業界の活性化など定量的な効果があることが評価された。

取組のポイント

「玉名市モデル」は、補助金に過度に依存しない実務モデルであり、市職員の直営施工(橋梁補修DIY)や地域建設業の既存施工能力を活用し、軽度な劣化・損傷から市単独費を用いて措置すること(分離発注)で、補助金による措置と2方向から挟撃している措置モデルである。具体的には、市職員をOJTで指揮官に育成し積極的に現場を指揮した結果、取組み開始前の従来手法と比較して約20億円以上のコスト縮減を達成するとともに、1巡目点検の判定区分Ⅲ・Ⅳの約8割を「玉名市モデル」で措置し、修繕完了率100%を迅速に達成した優位性がある。

受賞者について



受賞者

玉名市長 藏原 隆浩(下段中央)
土木課長 田上 幸二(下段左)
土木課長補佐 木下 義昭(下段右)
(上段右から) 前川 将輝/伊方 寛睦
春田 賢二/土井 勇樹

コメント

この度は、名誉ある賞を頂き、大変光栄に存じます。玉名市役所は第3回インフラメンテナンス大賞受賞に慢心することなく、インフラメンテナンス最前線の課題に対し最前線の実務を改善しながら「玉名市モデル」を醸成してきました。「玉名市モデル」には市職員の育成はもとより、単独費を用いた種々の取組みなど、玉名市役所の組織全体の協力体制が不可欠でした。今後も「総力戦」の姿をより一層高めてまいります。

団体概要

玉名市役所建設部土木課は、市道・準用河川・法定外道路・法定外水路の整備と維持管理を行っております。令和6年3月末において市道延長は約858km、市道橋は835橋を管理しており、玉名市民の皆様の安全・安心な暮らしに貢献できるような尽力しております。

問い合わせ先

玉名市役所 建設部 土木課 橋梁メンテナンス係
TEL: 0968-75-1124